

予算決算委員会都市経済分科会会議録

招 集

令和3年3月24日（水）本会議休憩中 議場

出席委員（8名）

（分科会長）今 城 雅 子 （副分科会長）三 嶋 秀 文
遠 藤 通 岡 村 英 治 尾 沢 三 夫 中 田 利 幸
前 原 茂 矢 倉 強

欠席委員（0名）

説明のため出席した者

伊澤副市長

【経済部】杉村部長

[商工課] 毛利課長 高浦商工振興担当課長補佐

【文化観光局】岡参事兼局長

[観光課] 石田課長 田仲課長補佐兼観光戦略担当課長補佐

[スポーツ振興課] 深田課長 成田課長補佐兼スポーツ振興担当課長補佐

[文化振興課] 下高課長 大野原課長補佐兼文化振興担当課長補佐

【農林水産振興局】中久喜局長兼農林課長

[農林課] 森脇課長補佐兼土地改良担当課長補佐

出席した事務局職員

松下局長 土井次長 森井議事調査担当局長補佐 先灘調整官

傍 聴 者

安達議員 石橋議員 稲田議員 岩崎議員 奥岩議員 門脇議員 国頭議員

田村議員 土光議員 戸田議員 又野議員 矢田貝議員 渡辺議員

報道関係者1人 一般3人

審査事件

議案第47号 令和2年度米子市一般会計補正予算（補正第17回）のうち当分科会所管部分

議案第48号 令和3年度米子市一般会計補正予算（補正第1回）のうち当分科会所管部分

~~~~~

### 午後1時00分 開会

○今城分科会長 ただいまから予算決算委員会都市経済分科会を開会いたします。

本日は、先ほどの本会議で予算決算委員会に付託された議案のうち、当分科会の審査担当とされました議案2件について審査をいたします。

経済部所管について審査をいたします。

最初に、議案第47号、令和2年度米子市一般会計補正予算（補正第17回）のうち経済部所管部分を議題といたします。

当局の説明を求めます。

中久喜農林水産振興局長。

**○中久喜農林水産振興局長兼農林課長** 今回の令和2年度米子市一般会計補正予算（補正第17回）のうち、本分科会に付託されました経済部所管の補正予算の事業について御説明いたします。

令和2年度米子市補正予算書を御用意ください。繰越明許費について説明させていただきます。2ページを御覧いただきたいと思っております。2行目の土地改良事業費の変更についてでございますけれども、追加分といたしまして、上坂池改修工事に使用するゲートについてでございますけれども、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりまして、当初の納期の予定が2月ということでございますけれども、4月末になるという申出がありましたので、年度内の完了が見込めないことから、繰越明許費として計上したものでございます。説明は以上でございます。

**○今城分科会長** 当局の説明が終わりました。

委員の皆様の質疑、御意見をお願いいたします。

遠藤委員。

**○遠藤委員** これはどこの事業なの。

**○今城分科会長** 中久喜農林水産振興局長。

**○中久喜農林水産振興局長兼農林課長** 陰田町でございます。

**○今城分科会長** 遠藤委員。

**○遠藤委員** 陰田町のどういう事業なの。

**○今城分科会長** 森脇農林課長補佐。

**○森脇農林課長補佐兼土地改良担当課長補佐** 工事の内容でございますが、農業用ため池の工事になります。農業用ため池の底樋と言われまして、水を通す管があるんですが、そちらを水をせき止めるためのゲート、いわゆる水門なんです、鋼製の水門の。その鋼製の水門のほうが工場のほうの製作で間に合わないということで、今回繰越しのお願いをしているところでございます。

**○今城分科会長** 遠藤委員。

**○遠藤委員** 起業期日はいつだったの。事業を一番最初に起こしたのはいつだったの。

**○今城分科会長** 森脇農林課長補佐。

**○森脇農林課長補佐兼土地改良担当課長補佐** 工事のほうの工期のほうは、令和2年12月9日からの工期です。

**○今城分科会長** 遠藤委員。

**○遠藤委員** 変更前と変更後で金額が違うけど、この差は何だかいな。

**○今城分科会長** 森脇農林課長補佐。

**○森脇農林課長補佐兼土地改良担当課長補佐** 工事金額のほうが1,057万9,000円になりますので、それをそのまま変更として、増額分として計上させてもらっています。

**○今城分科会長** どうしてそれが増えたのかっていうこと。

森脇農林課長補佐。

**○森脇農林課長補佐兼土地改良担当課長補佐** 失礼しました。当初のほうの工事が一つあったんですが、もう一つの工事が追加になりました。

○**今城分科会長** よろしいですか。ほかにはございませんか。

ないようですので、本件は終了いたします。

次に、議案第48号、令和3年度米子市一般会計補正予算（補正第1回）のうち経済部所管部分を議題といたします。

当局の説明を求めます。

毛利商工課長。

○**毛利商工課長** それでは、令和3年度米子市一般会計補正予算（補正第1回）につきまして、経済部関係を一括して説明いたします。

説明に当たりましては、歳出予算の事業の概要により御説明いたします。資料の1ページをお開きください。

1ページ下段、よなごプレミアムイベント開催応援キャンペーン事業として、910万円計上しております。これは新型コロナウイルス感染拡大の影響を特に強く受けている市内の事業者等を支援するために、これら事業者が複数参加するイベントにおいて、集客及び消費喚起を目的とした参加特典や追加のサービスといったプレミアムをイベント参加者に提供する取組の経費及び感染防止対策に係る経費に対して助成し、イベント開催を促進しようとするものでございます。

次に、2ページ上段、もっと買って応援！よなごプレミアム付商品券事業として、2億3,070万円計上しております。これは2回目のプレミアム付商品券を発行し、引き続き消費喚起を行い、市内経済の回復を図ろうとするもので、実施概要といたしましては昨年11月に実施したプレミアム付商品券事業と同規模の内容で実施しようとするものでございます。

同じく2ページ下段、お宝満喫！市内わくわくツアー事業として850万円、また3ページ上段、米子に泊まろう！宿泊応援キャンペーン事業として、6,000万円計上しております。いずれも令和2年度に引き続き、前者は市内の周遊バスツアー等を低料金で利用できるキャンペーンを、後者は市内宿泊施設の割引キャンペーンを実施するものです。なお、宿泊応援キャンペーン事業につきましては、資料で実施期間を令和3年4月1日から6月30日までとしておりますが、鳥取県において、We Love山陰キャンペーンが実施されます期間は、本事業を実施しないことと考えております。

次に、3ページ下段、芸術文化活動応援事業として200万円、また4ページ上段、イベント開催促進事業として1,000万円計上しております。いずれも令和2年度に引き続き、コロナ対策を行う文化イベントの主催者に対し助成を行うものです。

次に、4ページ下段、アーティストによる動画配信応援事業として36万円計上しております。これは、コロナ禍で活動を制限されるアーティスト等が動画配信のために収録等を行う際の施設使用料を減免するものです。

次に、5ページ上段、芸術文化活動持続化補助金として50万円計上しております。これは、新型コロナウイルスの影響によりイベントを中止、延期した場合に発生する開催準備経費の一部を助成するものです。同じく、5ページ下段、地域プロスポーツ緊急支援事業として152万1,000円計上しております。これは、令和2年度に引き続きコロナ禍の影響を受けるプロスポーツチームの支援を行うものです。

次に、6ページ上段、地域スポーツイベント感染防止対策事業として107万円計上し

ております。これは、スポーツイベントを実施する主催者にコロナ対策の物品を貸与し、安全なイベント開催を支援するものです。

以上が経済部関係の一般会計補正予算（補正第1回）の概要でございます。説明は以上です。

**○今城分科会長** 当局の説明が終わりました。

委員の皆様の質疑、御意見をお願いいたします。

遠藤委員。

**○遠藤委員** この国庫支出金が5億2,200万入って、これが全体の今回の補正の財源になっているようでありますけども、これは新たに国庫支出金が来たということですか、今までの残った分だったということですか、どうなんですか。

**○今城分科会長** 伊澤副市長。

**○伊澤副市長** これはコロナ対策の国庫支出金の財源充当の話であります。これは御案内のとおり3次にわたりまして、国から交付金が来ておりまして、第3次の交付金を少しちょっと記憶になりますんで、少しあいまいですが、1月の下旬、2月の頭にいただいています。基本的にはこれを活用して補正予算に計上させていただいているということですが、全て今の段階で使い切ったということではございませんで、そのうち約3億円ぐらいだったと思いますが、これは令和3年度に繰り越して活用する予定にしております。以上です。

**○今城分科会長** 遠藤委員。

**○遠藤委員** つまり令和3年度に3億円、これは残つとるという意味ですか、このほかに。

**○今城分科会長** 伊澤副市長。

**○伊澤副市長** すいません、説明が中途半端でした。その繰り越した3億円の一部を使って、今回この補正予算をお願いするものであります。以上です。

**○今城分科会長** 遠藤委員。

**○遠藤委員** 交付金はこれを使って、もう後は残はないということですか、まだあるということですか。

**○今城分科会長** 伊澤副市長。

**○伊澤副市長** 正確な金額は記憶しておりませんが、完全に使い切ったという状況ではないように記憶しております。まだ若干残っております。

**○今城分科会長** 遠藤委員。

**○遠藤委員** そこでお伺いしますが、業者関係とか、旅館関係とか、そういうところへの配慮は十分かなり今までもやってこられていると思うし、今回もそれに上乗せするような話になっていきますけど、私、前からこの問題について検討されたらどうかということを提案してきたと思うんですけど、例えば、コロナ禍によって離職された市民の方がかなりおられるんじゃないかと思うんですよね。コロナ禍によって離職された方というものの、把握なんてことはされていませんか。例えば、そういう方がおられたら、そこら辺りに、例えば、幾らかなりとの手当を支給されるような配慮もあってもいいじゃないかと、私ずっと思っておりまして、前にも意見言ったと思いますが、その辺のところの状況把握を含めて検討されてきましたか。

**○今城分科会長** 杉村経済部長。

**○杉村経済部長** 離職者の状況につきましては、ハローワーク米子であるとか、県立ハローワークのほうから、こういった状況であるかということは情報収集しておりまして、それぞれそういった雇用対策ということも含めて、国・県の機関のほうで対応していらっしゃるという状況ではございます。離職者が、あるいは失業者、倒産が出て、大量の失業者が出るとか、離職者がかなり出るといような雇用情勢として危機的な状況というのはまだなっていないのかなというふうには思いますが、その短期労働、いわゆるパートタイムを中心として職がなくなったという方もいらっしゃいます。米子市のほうではそういった方を対象として、例えば職業訓練等で新たな技術、資格を取られる場合の学び直しの支援対策というものも補正予算で予算化をしたというところでございまして、そういった学び直しの事業というものは既にスタートをしているところでございまして、遠藤委員さんがおっしゃいますような、これは給付的なものかと思いますが、今のところは国・県のほうでの雇用対策の中で御検討をいただいていると、あるいは必要な対策を取っていらっしゃるというふうに認識しているところでございます。

**○今城分科会長** 遠藤委員。

**○遠藤委員** 国や県は制度を持ってやっていることは私も把握しています。ただ、その中に谷間が少し見えるようなところもありますが、そういうことも含めて、米子市辺りがその辺りに、視点を当てて、何らかの救済手当を図っていくという工夫もあってもいいじゃないかなというふうに思うんですけど、そこら辺の検討はまだ行われていないんですか。

**○今城分科会長** 杉村経済部長。

**○杉村経済部長** 雇用情勢については先ほど申し上げましたように、常に状況については、ハローワーク等から情報は入れておりまして、有効求人倍率等々の、そういった状況は把握しているところでございます。おっしゃいますように、雇用不安といったような状況になれば、米子市としてもどういった対応ができるか、これは考えていく必要があるというふうに考えております。

**○今城分科会長** 遠藤委員。

**○遠藤委員** 雇用不安という言葉はどこの辺に目線を持っていくかという話になると思うんですけど、一般的に言われているのは非正規社員の皆さん方がなかなか国の制度では乗れない部分があって、いう報告も出ていますね。だから、米子ではそういう方々が何人おられるのか、把握できているかどうか分からないけども、ある程度それは把握できるんじゃないかと思うんですけど、雇用不安が出てきたから対応するんじゃないしに、既にそういう離職者が存在をしているとなってくると、この業者の皆さん方に対する手当をやっていくように、この個々の市民の皆さん方の実情に応じてはそういうことへの手当も私は平等的な意味で必要じゃないのかなと、こういうことを以前から申し上げてきているわけです。だから、まだ副市長は残が少しあるよというような話もしていらっしゃいますから、高額なものを出ないにしても、例えば、お互いが連帯感を醸成するというような意味合いの交付金制度というのがスタートしておりますから、そういう面から見ても、何らかの対策を僕は検討されたいじゃないかなと、こういうふうに思いますので重ねて要望しておきます。

次に、今回の補正に上がっている分で少しお聞きしたいと思っているんですけども、この前のお宝スポット満喫キャンペーンというのが3種類、令和2年度でスタートしていま

すよね。今回はこのお宝満喫！市内わくわくツアー事業というこのキャンペーンの事業名は前の分とは違うようですけども、一緒なんですか、これ。

○**今城分科会長** 石田観光課長。

○**石田観光課長** 今回の事業でございますけれども、令和2年度に行った事業をまとめたというような形でございますので、委員御指摘のとおり、一緒なものだというふうにお考えいただければと思います。

○**今城分科会長** 遠藤委員。

○**遠藤委員** そうすると、私はそれが聞きたかったんですよ。まとめたものとおっしゃいますけど、実は4本あるんです、ごめんなさい。お宝スポット満喫キャンペーンという、バスツアーという分と、城下町観光ガイドという分と、加茂川・中海遊覧と、市内周遊型貸切タクシーと、4つ、令和2年度はしてらっしゃいますよね。これの中間総括がこの間議会側に提示されましたけども、これを合算したもんだとおっしゃいますけども、この中で加茂川・中海遊覧とか、城下町観光ガイドとかいうのは30%台しか、これは活用されていないという総括になっていますね。それから、市内周遊バスツアー、これ52.9%、これも決して高い利用ではない。高い分というのとは何かと言ったら、市内周遊型貸切タクシー、これは95.7%だと、こういうことになっている。これを合算したもんだということになりますと、これはどういう扱いになるんですか。

○**今城分科会長** 岡文化観光局長。

○**岡参事兼文化観光局長** 先ほど御説明申し上げましたけども、若干、令和2年度と3年度で事業の内容が異なっておりまして、そこを一つ訂正させていただきたいと思います。令和2年度はお宝満喫のキャンペーンの中で、今、遠藤委員おっしゃいましたようなものに対して、助成をしていたということですけども、令和3年度はタクシーを除いてバスと、それと言わば観光案内のツールとして、例えば加茂川遊覧だったり、城下町観光ガイドだったりといったものに限定した形での助成対象ということにしております。その中で、令和2年度の実施状況につきましてですけども、バスにつきましては、予算の利用率が50%ぐらいということですけども、これは設定しましたバス料金よりも、予想よりも低廉な価格で運行できたということと、それとあと、加茂川・中海遊覧ですとか、あと城下町観光ガイドといったものにつきましては、コロナの感染状況などが拡大したといったようなことで、お客様が控えられたといったようなこともあって、なかなか数字が伸びなかったということと、それから、冬季には加茂川遊覧ですと、加茂川の水位の関係で運航できなかった期間もあったと、天候にも左右されますし、そういった状況があったというふうに考えております。

○**今城分科会長** 遠藤委員。

○**遠藤委員** それで令和3年度は一番利用率が悪かった分は改めてまた予算化したということになるんですけども、それはどういう目的を持っているんですか、これは。

○**今城分科会長** 岡文化観光局長。

○**岡参事兼文化観光局長** 令和3年度は4月1日から、春からスタートということになりますので、特に観光ガイドですとか、遊覧船といったようなものは、どちらかと言えば、利用していただきやすい季節でもございますし、今、米子市内、現状コロナの感染状況を見ましても、ある程度外出してお楽しみいただけるような状況もございますので、活発に

利用していただけるのではないかとというふうに考えております。

○**今城分科会長** 遠藤委員。

○**遠藤委員** 前回のやつとの総括を見とって、今回もまたこの時期が変われば、人の出も変わってくるだろうという期待感があってやられるということなんだけど、全体的に見てこれが本当にコロナ禍における地域経済への効果というものにどれだけインパクトを与えるのかということになってくると、甚だ少し状況がよくないなという印象を受けます。前回の二の舞にならないように対策を取ってもらいたいと思いますね、せっかくやられるわけですから。それとね、続けて申し上げますけども、この米子に泊まろう！宿泊応援キャンペーン事業、これが6,000万円、今回載っておりますけども、この中間総括のやつを見ますと、これ46.7%ということの予算執行率が報告が上がっておりますけども、これはどういう状況に今なっていますか。

○**今城分科会長** 石田観光課長。

○**石田観光課長** 委員の御指摘の部分だと、米子に泊まろう！宿泊応援キャンペーン事業、第2弾のところでもよろしいでしょうか。こちらの数字ですけれども、これが確定値になりますので、これからの数字の変動はございません。

○**今城分科会長** 遠藤委員。

○**遠藤委員** これが確定値であって、これ以上変化が起こらないという話なの。

○**今城分科会長** 石田観光課長。

○**石田観光課長** 第2弾のキャンペーンで議決をいただいた予算上の執行は、この数字だということです。

○**今城分科会長** 遠藤委員。

○**遠藤委員** これ単純に見ると、46.7%の執行率、100に対してこういう執行率でしょ。同じものをまたこの3弾で打つんですか。これも同じような利用状況にとどまる可能性もあるということですか、じゃあ。

○**今城分科会長** 岡文化観光局長。

○**岡参事兼文化観光局長** この宿泊キャンペーンにつきましても、時期時期に対象を市民対象にしたり、あるいは鳥取・島根両県民対象にしたりという形で内容を変えながら実施したものでございますけれども、あとは実施期間とか実施時期によりまして、利用状況というのは変動がございます。ただこれも、これからキャンペーンを打っていこうという中で、やはりコロナの感染状況ですとか、あるいは季節の状況ですとか、そういったことから考えまして、期間も一定程度取る予定ですので、利用は向上していくというふうに考えております。

○**今城分科会長** 遠藤委員。

○**遠藤委員** これほんなら前回の第2弾の場合は、時期が悪かったから利用率が悪かったと、こういう話なんですか。

○**今城分科会長** 岡文化観光局長。

○**岡参事兼文化観光局長** 第2弾とおっしゃいますのは、12月に実施したものであるというふうに考えておりますが、それは12月にスタートしまして、実施期間が1月の11日までという非常に短期のものでしたので、年末年始対応というような形で実施したもので、利用率が低かったものと考えております。

○**今城分科会長** 遠藤委員。

○**遠藤委員** 年末が大変だからこれをあえて第2弾を打ったんじゃないの。ということだと僕は受け止めているんですよ。年末が大変なんで、12月にもう一遍第2弾を打ったと。その効果が46.7%にとどまったということの意味がどういうことかということ、今伺っているわけです。そこでもう一つここで関連して聞きたいのは、予算額は3,712万5,000円なんですよ、この第2弾は。これが46.7%となると、この半分しか予算が執行されてないと、こういうことになりますよね。この予算の残った残はどういうふうに処理されているんですか。

○**今城分科会長** 岡文化観光局長。

○**岡参事兼文化観光局長** 宿泊キャンペーンを続けて実施しておりますので、またその枠の中で執行するようなことも考えております。

○**今城分科会長** 遠藤委員。

○**遠藤委員** 流用しているということですか、予算を。

○**今城分科会長** 岡文化観光局長。

○**岡参事兼文化観光局長** 流用ということではございませんで、事業枠の中で執行させていただいているということでございます。

○**今城分科会長** 遠藤委員。

○**遠藤委員** 事業枠って、この第2弾のキャンペーンはこれ自身が事業でしょ。その事業の予算が3,712万5,000円あって、執行率が46.7%だから、その残はどこに行くんですかというふうに、処理されているんですかという、事業の中で回しておりますと言ったって、説明がつかんで、これ。

○**今城分科会長** 岡文化観光局長。

○**岡参事兼文化観光局長** 観光費の中で使用させていただいております。

○**今城分科会長** 遠藤委員。

○**遠藤委員** 予算書の中身が見えてませんのでね、本来ならこれ残が出てくるということになると、3月末で補正残で減額をするということになるんじゃないかと思うんだけど、それ全部回し切って使っているということですか。

○**今城分科会長** 岡文化観光局長。

○**岡参事兼文化観光局長** 全てというようなことではございませんけれども、同じ観光費の中で事業費として持っているものでございますので、その中で使用させていただいているということでございます。

○**今城分科会長** 遠藤委員。

○**遠藤委員** ついで関連して聞きますけどね、同じような関係ですけど、これは商工課にちょっと伺います、同じことなんですけどね。飲食業等設備投資応援事業というのが令和2年5月にスタートしていますよね。これの分が予算額が8,050万円だったんですよ。ところが予算執行率は125.10%、つまり予算をはるかに上回っているんですね。これはどういうふうに処理されたんですか。

○**今城分科会長** 毛利商工課長。

○**毛利商工課長** 飲食業等設備投資応援事業補助金、これも枠内執行という形で実施しております、補助金の中で、補助費の中で執行していたものでございます。

○**今城分科会長** 遠藤委員。

○**遠藤委員** ちょっとこの2つの件はね、議会側にもっと説明できる資料を配付してもらいたいね、きちんと。今枠内、枠内でやっているって言われたって、ちょっと一般的には理解しにくい。明確に予算額がありながら、予算執行ができてくるわけですから。それ枠内で操作しましたと、この意味がちょっと分かりづらいんでね、資料提出をこれは求めておきたいと思います。それからもう一つ、買って応援！よなごプレミアム付商品券事業、これは総括で上がっているのは、53.70%ということなんですが、これはその後精算されてかなり変わってきたんですか、それともこのままですか。

○**今城分科会長** 毛利商工課長。

○**毛利商工課長** 申し訳ございません。ただいま手持ちの資料としては最終換金額というものを持ち合わせておりませんので、後で御報告させていただきます。

○**今城分科会長** 杉村経済部長。

○**杉村経済部長** 私もちっと明確な数字は今持ち合わせておりませんが、当初10万口を売る、商品券でいくと7億円分を売ると、これはほぼほぼ98%以上換金されて、商品券が販売できたと、これは確定して出ております。2月末までが商品券の使用期間でございまして、現在各事業者からの請求作業をやっているという状況でございます。一番新しい支払いの金額で申し上げますと、3月の16日現在でございすけども、約8割の換金、支払いができていう状況でございす。全てのまだ請求が事業者から出ておりませんので、最終的な金額についてはもう少し、最終的な支払いが終わってからということになります、8割方は既に換金ができていう状況でございす。

○**今城分科会長** 遠藤委員。

○**遠藤委員** つまり換金が8割方だということ、2割方も完全に換金になるということになるんですか。

○**今城分科会長** 杉村経済部長。

○**杉村経済部長** どれぐらい支払われているかというのが最終的に事業者から請求が来た金額で決まってくるというふうに思っております。2月末が使用期間でございましたので、これからまだ事業者から商品券の請求が出てくるということで、これからは使われた金額は上がっていくというふうに考えております。

○**今城分科会長** 遠藤委員。

○**遠藤委員** 事業に当たって、中間的な総括でもいいですから、逐次議会側に報告ができるようにしてください。

○**今城分科会長** よろしいですか。ほかにはございませんか。

岡村委員。

○**岡村委員** 1ページの下段のよなごプレミアムイベント開催応援キャンペーン事業についてお尋ねします。これは飲食業や移動販売業などという形になっていますけども、具体的にどういったイベントが想定されているのか、そしてまた、プレミアムとしてどういったものっていうのが用意されようと、どういうふうに想定されているのか、これについてお伺いします。

○**今城分科会長** 毛利商工課長。

○**毛利商工課長** こちらですね、具体的なイベントといいますか、先日米子市公会堂で金

曜日に、飲食業協同組合さんが行われておりました各お店を回られた際に、ポイントをつけて景品を配る、そういったその集客を呼ぶようなサービスの付与とか、お酒を一杯プレゼントするとか、そういったものをいわゆるプレミアムというふうに先ほど説明した中では位置づけております。そういったプレミアムにかかる経費を補助していくことでイベントを開催してもらってお客さんを集めて売上げを上げていただこうというふうに考えて、補助金をつくったものでございます。

○**今城分科会長** 岡村委員。

○**岡村委員** ちょっと心配しますが、ここにイベント開催に係る感染防止対策経費っていうものも計上されておるわけですけども、人が大勢集まってるいろいろなイベントされるというふうなことになる、どうしても密になってしまいがちになるんじゃないかと、心配するわけですね。そこら辺がやっぱりきちんとイベント開催に当たっては感染防止対策というものを徹底していただくというふうなことをお願いしたいと思うんですけど、そこら辺は抜かりなくやられるということで理解していいでしょうか。

○**今城分科会長** 毛利商工課長。

○**毛利商工課長** もちろん県の指針によるイベント開催の基準、こちらを守っていただくことはもちろんですけども、来ていただく市民の方、あるいはお客様に安心してもらえるようなイベント開催というのも集客につながる一つの大きな要因だと思っております。そういったことを声をかけていながら、大きなイベントを開催していただければというふうに思っているところです。

○**今城分科会長** 岡村委員。

○**岡村委員** あと一点お伺いします。最終ページの6ページの地域スポーツイベント感染防止対策事業っていう形で、スポーツイベントというふうに書いてございますけども、具体的にはどういった団体が行うスポーツイベントが対象になるのか、またそういうスタンド型検温器などが貸し出されると、貸与するということが書いてあるわけですけども、どういったものを想定されているのでしょうか。

○**今城分科会長** 深田スポーツ振興課長。

○**深田スポーツ振興課長** 主には皆生トライアスロンですとか、オープンウォータースイムを代表しますようなスポーツツーリズムの大会を想定しているところでございますが、それ以外の地域のスポーツイベントについても対応したいと考えております。

○**今城分科会長** 岡村委員。

○**岡村委員** 地域のいろいろなスポーツ団体がございまして、そういったところもやっていく上で、こういうものがあるということをぜひ周知お願いしたいというふうに要望しておきたいと思っております。

○**今城分科会長** ほかにはございませんか。

ないようですので、以上で経済部所管の審査を終わります。

予算決算委員会都市経済分科会を暫時休憩いたします。

午後1時35分 休憩

午後1時36分 再開

○**今城分科会長** 予算決算委員会都市経済分科会を再開いたします。

予算決算委員会における分科会報告の意見の取りまとめを行います。

報告に入れる意見につきまして、委員の皆様の御意見を求めます。

〔「なし」と声あり〕

**○今城分科会長** よろしいでしょうか。それでは、特になかった旨、報告させていただきます。

以上で予算決算委員会都市経済分科会を閉会いたします。

**午後 1 時 3 7 分 閉会**

米子市議会委員会条例第 2 9 条第 1 項の規定により署名する。

予算決算委員会都市経済分科会長 今 城 雅 子